

# ぶな

2023年11月号

NO. 536



滋賀県勤労者山岳連盟 比良雪稜会

## 【巻頭言】

809

深田久弥は『日本百名山』（昭和39年7月刊）の後記で「日本は山国である。どこへ行っても山の見えない所はない。日本人ほど山を尊び山に親しんだ国民は、世界に類がない。国を始めた昔から山に縁があり、どの芸術の分野にも山を取扱わなかったものはない。近年ことのほか登山が盛んになって、登山ブームなどと言われるが、それはただ一時におこった流行ではない。日本人の心の底にはいつも山があったのである。」と書いている。

この登山ブームは今や国民的な登山の文化として開花している。登山で壮大な景色を見て癒されたり、自然に身をおいてリフレッシュしたり、汗を流して登頂の達成感を味わったりと、人それぞれに登山の魅力を追い求めている。

今夏はコロナの行動制限もなくなり、北アルプスなど再び多くの登山者でにぎわったようだが、その一方で残念なことに山岳遭難のニュースが連日のように報じられた。警視庁の発表によると、夏期（7月～8月）における山岳遭難件数は809件、死者・行方不明は61人と、ともに過去最多、発生場所は長野県101人、静岡県85人、富山県59人、他。年齢別では60～70代が多く、346人で全体の4割を占め、遭難の発生原因は多い順に、転倒・道迷い・病気・滑落・疲労・他となっている。ちなみに2022年の山岳遭難件数は3015件で、負傷者は1306人。死者・行方不明者は327人だった。それにしても夏の2ヶ月間で809件とは異常に思える。それに疲労で歩けない人をヘリで救助など多様な遭難実態にも驚くばかりだ。

もっぱら低山を歩く者でも遭難は他人事でない。いま一度、登山には標高に関係なく様々なリスクが伴うことを再認識し、常に油断することなく、いつまでも安全に山歩きを楽しみたいものだ。

K.K（代）

# もくじ

- 巻頭言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 例会山行案内
  - 鈴鹿県境稜線を往く 11月19日(日)・・・・・・・・ 3
  - 高取山(低山ハイク) 11月23日(木)・・・・・・・・ 4
  - ほしだ園地と星田連山 12月2日(土)・・・・・・・・ 5
  - 比叡山系・八王子山～三石岳 12月3日(日)・・ 6
  - 東海道ウォーク 12月9日(土)・・・・・・・・・・ 7
- 例会山行報告
  - 鈴鹿県境稜線(石樽峠～釈迦ヶ岳) 9月23日・・ 8～9
  - 柳生街道(滝坂の道) 10月8日・・・・・・・・・・ 10～11
  - 八雲ヶ原テント泊 10月15～16日・・・・・・ 12～13
- 個人山行報告
  - 早池峰山 9月25日～27日 ・・・・・・・・・・ 14～15
  - 大日三山 9月30日・・・・・・・・・・・・・・・・ 17～18
  - 韓国 嶺南アルプス 10月6日～11日・・ 19～21
- 部会報告
  - 運営委員会報告(第7回)・・・・・・・・・・・・ 22～25
  - リーダー部議事録(第5回)・・・・・・・・・・・・ 26
  - 2023年11月予定表・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

◇表紙写真「例会北八ヶ岳」  
撮影：K原氏 2023.9.18

〈例会山行案内〉

## 鈴鹿 県境稜線を往く

### 藤原山荘⇄コグルミ谷分岐

日程 11月19日(日)

集合：堅田駅 6:30

歩きやすい大貝戸道を登り、藤原山荘から尾根道を天狗岩（藤原岳最高点）に向かいます。眺望を楽しんだ後、晩秋のなだらかな尾根道を進み、コグルミ谷を下れば駐車（配車）場所です。

コース 堅田駅 6:30＝コグルミ谷登山口駐車場（配車） 8:30＝大貝戸駐車場 9:00～大貝戸道～藤原山荘 11:45(昼食)12:15～天狗岩 13:00～頭陀ヶ平 14:00～白船峠 14:30～コグルミ谷分岐 15:19～コグルミ谷出合 16:20～コグルミ谷駐車場 16:30＝車回収後コグルミ谷駐車場解散 17:00

コースタイム倍率×1.1のペースで計画しています。

昼食時間 30分

距離 9.3 km 累積上り 1189 下り 833m

難易度 体力★★★★☆ 技術★★★★☆☆

装備：弁当・飲み物・雨具・行動食・非常食・手袋・地図・ヘッドライト  
その他日帰り登山装備

申込先 H島

締切日 11月13日(月)

中止：前日9時の予報で降雨・強風の場合は中止にします。この場合12:00までに連絡します。

(例会山行案内)

## 高取山

(壺阪山駅～高取城跡)

低山ハイクを楽しむ電車山行です。近鉄壺阪山駅から壺阪寺、高取山と周遊します。高取山の山頂には日本三大山城の一つに数えられる高取城跡があり本丸跡に三角点(583.6m)があります。城下町の麓から高低差446mの山上に累々と残る石垣や石塁は実に広大で日本一の山城と言われています。

下山後にキトラ古墳まで足を延ばします。また、当日は「たかとり城まつり」が麓で開催されますので、その雰囲気も楽しめます。

行程：近鉄京都駅7:40発→壺阪山駅8:52→壺阪寺→高取山 11:30(食)  
→国見櫓→猿石→札の辻13:30→キトラ古墳14:30→壺阪山駅15:  
20発→京都駅16:47(解散)

日時：11月23日 祭日(木)

集合：近鉄京都駅(改札前) 7時30分

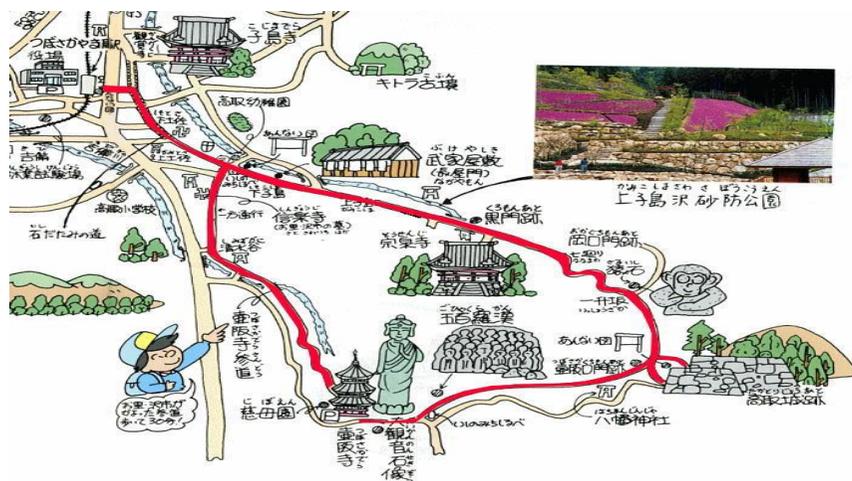
難易度：体力★★☆☆☆ 技術★☆☆☆☆ 歩行距離12 km

装備：飲物・弁当・雨具・日帰り装備・ICOCA

担当：K原

締め切：11月17日(金)

中止：雨天予報は中止。この場合、前日の10時ごろに連絡します。



(例会山行案内)

## ほしだ園地と星田連山 紅葉山歩

日程 12月2日(土)

集合：京阪私市駅 10:00

(参考) 堅田 8:08 発＝京都 8:53 発(近鉄急行天理行)＝近鉄丹波橋(徒歩移動)

京阪丹波橋 9:11 発(京阪特急淀屋橋行)＝枚方市 9:33 発(京阪交野線)

＝私市 9:46 着

生駒山中に、約 100 ヘクタールの自然公園「ほしだ園地」があります。全長 280 m、最大地上高 50mの木床吊橋「星のブランコ」からは、コナラやヤマザクラ、モミジなどの見事な紅葉を楽しめます。星田連山のピークを踏んで星田駅へ。

(コース) 京阪私市駅 10:00～ほしだ園地 10:40～馬が嶺 10:57～哮峰 11:33

(昼食)12:03～小判嶺 12:38～大谷山 12:48～地獄谷山 13:29～旭山 13:55～

星田駅 14:32 (解散)

難易度 体力★★☆☆☆ 技術★☆☆☆☆

装備：弁当・飲み物・雨具・行動食・非常食・手袋・地図・ヘッドライト

その他日帰り登山装備

申込先 H 島

締切日 11月30日(木)

中止：前日 9 時の予報で降雨・強風の場合は中止にします。この場合 12:00 までに連絡します。



〈例会山行案内〉

## 比叡山系/八王子山～三石岳

381m                  676m

坂本の大宮川観光駐車場を起点に八王子山と三石岳を時計回りに周回します。

八王子山は例年 4 月に行われる坂本の山王祭の午の神事で知られており、三石岳にかけての道は比叡トレイルコースから外れているため、登山者はやや少ないですが、観光客にも出会う横川中堂まで歩き、できれば近くにある西国三十三ヶ所石仏巡りをしてから中尾坂で飯室谷不動堂まで下り西教寺前を通り駐車場まで戻ります。

日程：令和 5 年 12 月 3 日(日)

集合：大宮川観光駐車場(無料・トイレ有) 8 時半      大津市坂本 5 丁目 21 番

湖西線で来られる方は比叡山坂本駅(上り)京都方面行 8:15 でお越し下さい。

(下り)堅田方面行 8:16 でお越し下さい。

申し込み時にお伝えくだされば駅でピックアップして駐車場に向かいます。

(行程) 駐車場～八王子山～三石岳～横川中堂(石仏巡り)～飯室谷不動堂～駐車場

8:30      9:20      10:50      12:00(昼食)13:20      14:30      15:30

レベル：体力★★☆☆☆      技術★★☆☆☆

距離   ：約 12 km

時間   ：約 7 時間 (昼食休憩を含む) = コースタイム x 約 1.2 倍みえています。

装備   ：昼食・飲み物・地図・磁石・雨具・防寒具・ヘッドランプ

非常食・そのほか通常の日帰り装備一式

担当   ：N 尾

申込   ；パソコン E メール

締め切り日：11 月 27 日(月)

雨天・荒天中止      中止する場合は前日 2 日(土)の 13 時までにメール連絡します。

(例会案内)

## 電車山行 東海道ウォーク(土山宿から関宿)

スタートの土山宿もゴールの関宿も宿場時代の街並みが良く残り、江戸時代に人々が行き来していた光景が目には浮かぶような所です。

途中、田村神社、鈴鹿峠越え、坂下宿と名所が次々現れます。

行程 17 kmのうち、9割は舗装路です。鈴鹿峠の下りに石段がありますが、山道というほどの場所はありません。

初冬の旧東海道で、古の歩く旅の賑わいに思いを馳せてみませんか。

草津か山科辺りで、打ち上げいかがでしょうか。

(日時) 12月9日(土) 草津駅 8:04 発草津線柘植行電車に乗車  
(堅田駅 7:13 発の電車、山科で新快速に乗り換えてください。)

(コース)

草津駅 8:04=貴生川駅 8:31=(バス)=土山地域市民センター9:10  
土山宿 9:10~田村神社 10:00~鈴鹿峠 12:00~坂下宿 13:30  
関宿 16:00~関駅 16:49=堅田駅 18:52

(担当・申込先) CLH 池

(締め切り) 12月2日

(難易度) 体力★★★ 難易度 ★

## 鈴鹿県境稜線 石樽峠～釈迦ヶ岳（ピストン）

実施日 9月23日（土・祝） 晴れ

参加者 CL:H 島（記録）・SL: K 原・K 藤・H 浦・N 村・S 水・F 川・K 林・  
T 中利・K 嶋 計 10 名

行程 聖田駅 6:30＝石樽峠 8:37～三池岳 10:28～八風峠 10:50～中峠 11:05～仙香山  
11:08～釈迦ヶ岳 12:07（昼食）12:51～仙香山 13:37～中峠 13:49～八風峠 14:03  
～三池岳 14:18～石樽峠 16:11（解散）

旧国道 421 号石樽峠に到着した時には満車状態であった。少し引き返して道路脇空きスペースに駐車する。石樽峠から三重県側に出、車止めのフェンス横のガードレイルを乗り越えてアスファルト道を歩く。しばらく行くとヘリポートの広場がありそこに三池岳への縦走路登山口があった。

K 原さんの快ペースでいくつかの無名ピークを越えヤセ尾根やロープがあるガレ場を慎重に進む。前日までの夏日から打って変わり秋空の下、気持ちよく縦走路を往く。

縦走路の三重県側は視界が開けており伊勢湾が望まれる。低木・笹原の開放的なコースが続いている。三池岳頂上からはこれから登る仙香山や釈迦ヶ岳の山容が眺められた。本日の最高点釈迦ヶ岳（1092m）に 12 時 7 分に到着、計画より 20 分程度速かった。昼食場所を日当にするか木陰にするか迷うところであったが伊勢湾を見下ろせる日当の場所に座った。

昼食後、集合写真を撮影し、石樽峠へと引き返す。往路時には気づかなかった仙香池を通過し、中峠、八風峠を経て三池岳に 14 時 18 分帰着（計画より 20 分程度速い）。三池岳からの帰路では、前方に竜ヶ岳の山上台地を眺め、ガレ場ではロープにつかまって下った。

石樽峠に 16 時 11 分無事下山した。

K 原さんの名リードで標準の 90～110 パーセントの平均ペースを維持し、山行を計画通りに終了することができた。

一口感想

山行に遊び呆けたこの夏、疲れも取れないまま、鈴鹿に臨む。しんどい、お腹が減った。K 原さん、もっとゆっくり歩いて！

常に小走りになって付いて行く。ああ、体力不足！ でも最後まで行けた。ほっとした。

H 浦



《例会山行報告》

## 柳生街道（滝坂の道）

日時 2023年10月8日（日）曇後雨

参加者 CLI 井 SLK 林 N 村（久） H 浦（記録）

コース 近鉄奈良駅＝忍辱山円成寺 9:50～峠の茶屋 11:15～石切峠 11:20～地獄谷石窟仏  
12:05～ドライブウェイ脇でランチ 12:15～首切地藏 12:50～志賀直哉旧居  
13:45～近鉄奈良駅 14:50

曇り空の中、忍辱山（にんにくせん）バス停車。

円成寺を通過して石畳道、墓地を通り山道に入る。木々の隙間からたまに薄日もさして気持ちが良い。歩くのに丁度いい気温。誓多林の集落には清潔なトイレもありました。

峠の茶屋は、1か所、戸が開いて電気も付いて敷いてある布団も見えるが人の気配なし、少し怖い。石切峠で、倒木の為通行禁止と書いてありましたが、ダメ元で入る。

切立った両面の壁に丈のある苔がびっしりと生えている。その間の階段を降りて行く。そこだけが別世界のよう。橋を渡ると現実世界で川沿いにあった道はやはり無くなっていて、違うルートで本来の登山道に戻る。地獄谷石窟仏前のベンチでお昼にしようとしたが、雨がポツポツと降ってきたので少し進むと、止んで来たのでドライブウェイ脇の階段で縦1列、行儀良くランチタイム。首切地藏に着く前に、また降り出したのでカッパの上だけ着用。首切り地藏の休憩所を過ぎると石畳で、滑らないよう慎重に。朝日観音、夕日観音、寝仏を見て一般道に、今まで見なかった鹿があちこちに出没。志賀直哉旧居は贅沢な造り、庭が3つも。でも9年しか住んで無いそうです。勿体ない。後は春日大社、興福寺を通り抜け近鉄奈良駅へ、山道は小雨で情緒ある街道歩きが出来ましたが、春日大社の鹿の臭いはちょっときつかった。

（H 浦）

一口感想

峠の茶屋が営業しておらず、でも一枚だけ雨戸が開いていて電灯もついていて、のぞいたら板の間に、ついさっき人が起きだしたいな布団が敷いてあって、古い映画のなかにタイムスリップしたようでした。

最後に立ち寄った志賀直哉旧居は、ほれぼれする素敵なお屋敷でした。

街道と茶屋と志賀直哉・・面白かったです

(K 林)

雪陵会に入会して初めての参加がこの柳生街道でした。

石畳の古道やシダで覆われた川沿いの道、春日大社の原生林の道など美しい景色の中を歩きながら自然と気分が上がって来ます。

途中道が険しい所がありました、引返すのかなと思っておりましたら、さすが経験値の高い方々が多く地図を見ながら平気でどんどん進んで行かれ何事も無く通りきり、これが読図ってものなのかと感心しきりでした。

静かな林間の道から大路に出ると急に観光客で溢れた道となりその対比も面白かったです。

(N 村)

円成寺の紅葉はまだ早く、でも池のほとりの青モミジがきれいでした。歩く道は、ほとんどが樹林帯の道で、時折舗装路もあり、石畳もありで、変化に富んだものでした。

地獄谷石窟に行く途中で、道が途絶えており、少し山の方に入りましたが、すぐに元の道に戻れて一安心。

(I 井)



地獄谷石窟



首切り地蔵

<例会山行報告>

## 八雲ヶ原テント泊例会

実施日：2023年10月15,16日

天候：晴、曇、一時雨

参加者：CLT 中啓、SLK 藤ひろみ、SLH 池差英子、Y 口弥生、O 村智恵子、S 田弘枝。

F 野健太郎、S 水昌子、H 部美知恵

前日夕方から翌朝方にかけての雨 明日のテント泊例会どうなるのかと案じてたところ リーダーより天気回復のきざし有り 例会実施のメールを受け取り 装備の点検 防寒対策等今一度。

### 15日(日)

9:30 イン谷集合 皆の晴れやかな笑顔 天気回復を喜ぶ。

共同装備を分担し エイエイオーと手を重ね気合を入れる。

9:40 出発 重い荷を背負いながらも皆楽し気に歩き始める。

10:00 大山口到着 衣服調整&立ち休憩 カモシカ台目指し出発

荷物の重さが徐々に響いてきた。目的地迄歩けるのか少し不安がよぎる。何とかカモシカ台11:00到着 水分補給休憩 青空が広がり 朝方までの雨がうそのように良い天気。北比良峠目指し再び歩く。更に急坂を懸命に歩く。先頭から「もう少しだからね～」と聞こえるが中々その「もう少し」が遠く感じる。

12:15 漸く北比良峠着 ここでお昼休憩。時間はたっぷり有るし最高に良い景色を見ながらお昼休憩。ゆっくり13:00頃迄居ましようとしてリーダーのお声かけに皆安堵したのも束の間 雨雲が近づいて来るではないか！早めに切り上げて 八雲ヶ原へ向かう間もなくまさかの雨。あんなに晴れだったのに 急いで雨具を着て 目的地に向かう。13:30に八雲ヶ原到着 雨も上がりやれやれ。人騒げせやな - と 一時的な雨にホットする。テントを張り。水汲みして 皆で予定の打合せをしながら コーヒータイム。15:30夕食の準備に取り掛かる。おすすめの「鶏だしコク醤油」野菜たっぷり豚肉入り鍋を皆で頂く。メの棒ラーメンも沢山用意して頂き 楽しい夕食タイムとなった。17:00には後片付けも終わり18:00には就寝。こんなにも早く寝れるかしらと思うが多分一番早く寝息を立てて寝ていたかもしれない。個人的には初めてのテント泊 お天気が良いことを願うのはもちろん 装備 リュックの詰め方 持ち物等 etc 何もかもが良い勉強になりまた楽しく過ごせて感謝の一日目となりました。(1日目記録：S 田)

### 16日(月)

6時前起床し、6:20 朝食の準備を始めた。フリーズドライの味噌汁に薄く切った餅を入

れ食べ始めた。ところがその途中雨がパラパラ、空の雲行きも怪しい。  
食べ終わってすぐテントを撤収することにCLが判断。  
撤収後皆で話し合い、これからの天気予報も鑑み下山することにした。

8:15 八雲ヶ原を後にした。

8:45 北比良着。武奈ヶ岳方面の天候は相変わらずよくない。しばらく休んで下山開始。

9:40 カモシカ台に着き、ここでコーヒータイムとする。

11:00 出合に着き、しばしの休息をとった。

11:30 駐車場着。ここでは空を見上げれば晴天、山の天気との違い、変わりやすさを実感。今回の山行にかかった費用を清算し解散。

雨のおかげで記録は簡単で済むが複雑な気持ちである。

(2日目記録：F野)

#### 《ひとくち感想》

重い荷物を担いでダケ道をゆっくり登り、八雲で久しぶりのテント泊をしました。  
夕食も朝食もとっても美味しかったです。雨で武奈ヶ岳には行けませんでした、  
大満足の二日間でした。皆様、有難うございました。

Y口弥生



## 早池峰山

|     |   |
|-----|---|
| 日 時 | 2023 年 9 月 25 日 (月) ~ 27 日 (水)  |
| 参加者 | I 井 N 田 T 田   |
| 行 程 | 25 日 京都=大阪空港=仙台=北上=石鳥谷=早池峰ロッジ峰南荘<br>26 日 ロッジ峰南荘=小田越登山口~5 合目御金蔵~剣ヶ峰分岐~山頂~<br>5 合目御金蔵~小田越登山口=ロッジ峰南荘<br>27 日 ロッジ峰南荘=大迫バスセンター (早池峰と賢治の展示館) =花巻<br>=花巻空港=大阪空港=京都 |

### 25 日 晴後曇

出発の 3 日前に峰南荘から電話あり。早池峰山に登られる 26 日に山頂の避難小屋修理のため、ヘリコプターが飛ぶので、山頂には行けません、9 合目付近までしか行けないとの連絡。そんなこと急に言われても、飛行機はキャンセルできない切符を買っているし、行くしかない。

この時期の早池峰山の交通の便は全く悪い。登山口まで行くバスどころか、山麓のロッジ峰南荘までさえ、行くバスがない。

京都 (7:00) からリムジンバスで大阪空港 (7:50) へ。そこから仙台 (10:40) まで飛行機で行き、仙台から東北新幹線で北上 (14:30) へ。さらに東北本線で石鳥谷 (15:10) へ。ここから大迫というところまでバスがあるのだが、1 日 6 本しかない。大迫 (おおはさま) からは、バスもないのでタクシーを利用するしかない。私たちは、石鳥谷でのバスの待ち時間が長いので、石鳥谷からタクシーでロッジ峰南荘に行くことにする。タクシーに乗ること 45 分で早池峰ロッジ峰南荘に到着 (16:00)。このロッジ峰南荘には、風呂はあるのだが、タオルは持参とのこと。夕食は、明日の登山を考えて、アルコールは少なめに！ 夕食時には、かなり冷え込んだ。

### 26 日 曇一時雨

朝からどんよりとした曇。5 時に起床して、朝食のおにぎりを部屋で食べる。ロッジ峰南荘 (6:50) からこのロッジの車で小田越登山口 (7:15) まで送ってもらう (送迎有料)。登山口に簡易トイレがあり、登山中は、携帯トイレが必要となる。ここに管理人のような人がいて、今日はヘリコプターが来るので、山頂には行けないが、ただ天候がよくないので、もしかしたらヘリコプターが来ないかも知れない、そうであれば、山頂には行けると言ってくれる。トイレをすませて出発 (7:20)。最初は木道。樹林帯の道を進む。木道が終わると少し勾配がきつくなる。1 合目を過ぎると、樹林帯を抜け出て、

大きな蛇紋岩ばかりのごろごろ道。立ったまま登って行く人もあるが、私たちはバランスが悪いのか、手を岩におかないと登れない。2合目を過ぎたあたりから雨が降り出す。カッパを着終わると同時くらいにざっときつく降り出す。これは登頂をあきらめないといけなかなと思わせる雨。それでも30分くらい歩いていると雨が止む。カッパを脱ぐと寒いので着たまま登る。5合目御金蔵（おかねぐら）到着（9:05）。さらに岩のごろごろ道を登って行くと、岩肌へべりつくような鉄梯子が出てくる。高さは10mくらい。この鉄梯子を恐る恐る登り終え、最後の登りを過ぎると、山頂近くの稜線にたどり着く。平坦な道を進むと剣ヶ峰との分岐に出る（10:05）。この辺りはハイ松が一面に茂っている。すこし木道があって、やや登りになり、頼りない小さな梯子を登ると山頂避難小屋に到着。幸いヘリコプターは来てなくて、山頂に行ける（10:20）。山頂は一面のガスで眺望はなし。祠があり、十一面観音が祭ってあった。

山頂に15分ほどいて、登ってきた道を降りる。剣ヶ峰分岐（10:50）。鉄梯子まで戻ってきて、その梯子を下りようとするが、強風が吹き荒れていて、怖くて降りられない。10分近く待っていたが、一向に風がおさまらないので、必死に梯子につかまりながら恐る恐る降りる。5合目御金蔵（11:45）、ここで昼食。時折ガスが薄れて下界がうっすらと見える。岩のごろごろ道は、下山の方が登るときよりさらに慎重になる。最後の木道を過ぎて、小田越登山口に帰り着く（13:35）。ロッジ峰南荘の迎えの車はすでに来ていて、トイレをすまして乗り込む。峰南荘到着（14:00）。風呂は16時から入れる決まりだったが、この日は帰ってすぐに入れように準備してくれて、冷えた体を暖めることができた。帰ってしばらくしたら本格的な雨となった。この雨に合わずに帰れて良かった。夕食は登頂を祝って乾杯！

## 27日曇

朝食（7:30）をすまし、のんびり帰り支度をする。ロッジ峰南荘（9:15）よりタクシーで大迫バスバスターミナルへ（9:40）。ここで宮沢賢治ゆかりの「早池峰と賢治の展示館」を見学する。この展示館は、早池峰と賢治にかかわる作品紹介、賢治が常宿としていた旧石川旅館の部屋再現、風の又三郎の舞台といわれる猫山のモリブデン鉱石などを展示している。見学後、バスターミナル（11:09）からバスで花巻へ。花巻では、賢治がよく通ったという蕎麦屋「やぶ屋」で昼食。花巻からJRで花巻空港駅へ（14:40）。この駅からバスでいわて花巻空港（15:15）へ。これより一路大阪空港へ（17:30）。空港で夕食をすまし、リムジンバスで京都駅へ（20:30）。無事帰郷した。

(一口感想)

避難小屋の修理とやらで、8合目辺りまでしか登れないということだったが・・・、やれ嬉しや山頂まで行けた。雨あり・風あり・霧が走り・手が冷たくなる中、ひたすら登る！ 下山時は、薄日が差して、遠景が少し見られた。出会いたかったハヤチネウスユキソウにも一輪、言うことなし。滑りやすい蛇紋岩が頭から離れず、三点支持で登り降りする。ツル・ツルとはなったけど、ツルーツはなく、無事下山。でも、登山口まであと少しのところ、オーイ、(登山口の) 木道どこ行った～と叫ぶ自分が・・・。  
緊張が解れた後の感動が二・三日続きました。(^^)v\!(^^)/  
リベンジしたかった山、出来た～！ ありがとうございます！ (N田)



〈個人山行報告〉

## 大日三山

日 時：2023年9月30日(土)～10月1日(日)

参加者：CLK嶋、SLS水(昌)、S水(裕)

行 程：9/30 大津出発 2:00＝名神・北陸道立山IC＝立山駅 7:00-40(ケーブル・バス)＝室堂 8:45-9:00～雷鳥荘 9:35-10:05～雷鳥沢キャンプ場 10:20-35～新室堂乗越 11:10-15～室堂乗越 11:35-40～奥大日岳 12:50-13:20～七福園 14:50～中大日岳 15:00-15～大日小屋 15:20-30～大日岳 15:50-16:00～大日小屋 16:15(泊)

10/1 大日小屋 6:00～大日平山荘 8:35-55～大日岳登山口 11:25～称名滝展望台 11:40-45～大日岳登山口 12:00～称名滝バス停 12:20-13:10(バス)＝立山 13:30＝入浴後帰滋

前週の例会・鈴鹿/釈迦ヶ岳で足が何度も攣って、その度パーティーを止めてしまっていたので、今回も不安な気持ちのままの山行となった。それでこの夏、三度の北アルプスの山行のほとんどをSL清水にペースメイクしてもらっていたので、今回も迷わず先頭で歩いてもらう事にした。

初日、室堂境界の素晴らしい紅葉を写真に撮りながら歩き出し、今年三度目の雷鳥荘でのコーヒータイト！チーズケーキ付き…(笑)今日は順調に歩けてるなあ、よしよしと思っていたら、新室堂乗越からの稜線歩きに入り、室堂乗越を過ぎた辺りから何度も足が攣り出し、その度休憩する事に…。そのうちに風も強く吹き出し奥大日岳の手前からはガスガスを景色も見えず、ウ～ン残念！七福園の紅葉、綺麗でしたヨって対向の登山者から聞いてたのに、ここでもガスって見えず、中大日岳の看板も危うく通り過ぎそうになったりしながら、ようやく大日小屋に到着！とりあえずザックを置き、ポツポツと降り出した雨の中、急いで大日岳へ…。初日の大日三山、足は攣ったけど無事に終了！良かった、良かった♪♪

久しぶりの小屋泊り、何か落ち着かない感じで夕食の時間まで待つ。缶ビールを1本だけ飲み、夕食後は小屋番さんのギター演奏を聞いたりして小屋泊りを楽しんだ。

二日目、夜中かなり強く降っていた雨は何とか朝には霧雨状態。合羽を着て称名滝目指して6時に小屋を出発！濡れた岩場を滑らない様に慎重に下るも、前日からの疲れた両足にはとてもハードで疲労感満点…。雨は止みそうになったり強く降ったり…。大日平山荘を過ぎた下りの木道でとうとう転倒！それも続けて2度も…。幸い怪我は無かったけど、先日直したばかりのストックが曲がってしまった。とりあえず、まだまだ続く激下りの登山道を尊重に降り、11時25分に無事に登山口に下山出来た時はホ

ッとした。そこから痛い足を引きずり称名滝まで行き、充実した二日間を終えた。  
今回、色々と助けて頂いた清水親子には大変感謝しています。ありがとうございました。  
(川嶋)

#### 一口感想

今シーズン 3 回目の立山。でもひと月余りで夏の緑からめっちゃ美しい紅葉へと景色が変わっていて大感激！！秋の立山、大日三山を堪能しました。今回は小屋泊だったので荷物は軽かったけれど、あまりの美しさに立ち止まってばかり。剣の雄姿は途中から雲に隠れてしまい残念でした。久々の小屋泊にちょっと緊張しながらも、ギターの生演奏まで楽しみました。次の日は夜中の雨で濡れていたのので下山は慎重に。長々歩いたけど称名滝の絶景も見られて充実した 2 日間でした。ありがとうございました。

(S 水)



『交流山行記録』

**韓国 嶺南 (ヨンナム) アルプス伽智山 (ガチン) と金井山 (クムジ ヨンサン)**

期間：2023年10月6日(金)～11日(水)

参加者：CL (オフトレイル)T内(資) T内(里) (比良雪稜会)F野 K藤

- 10/6 (金) 大阪南港国際ターミナルに集合  
出国審査、手荷物検査を受けた後パンスタクルーズフェリーに  
乗船 17:00 出航
- 10/7 (土) 釜山港に12時前到着 簡単な入国検査を受けた後韓国に入国  
地下鉄中央駅より温泉場駅に着きホテルキングに投宿。ここを  
拠点に山に行く。
- 10/8 (日) 伽智山登山
- 10/9 (月) 金井山登山
- 10/10 (火) 首露王陵など観光しフェリーで帰路につく。
- 10/11 (水) 大阪南港国際ターミナル10時着

**10/8(日)伽智山登山**

- 8:30 地下鉄、KTX (韓国の新幹線)、バスを乗り継ぎ2時間30分ほどで今日登る登山  
口である石南寺 (ソナムサ) に着く。
- 9:10 登山開始。石南寺奥の登山口を探すもなかなか見つからず。ネットの情報では寺  
の裏となっているが。
- 10:10 あちこち探すうちに寺手前の橋の脇に小さな英語で書いた表示板を見つけいよ  
いよ山に入る。登山道はそれほど急坂でなくはっきりしていた。日本の道とは  
そんなに変わらない。ただ周囲の大きな木はほとんどが松であった。杉檜ばか  
りの日本とは大きな違いである。
- 12:30 耳岩着。
- 12:50 上雲山 (1172m) 着、ここで昼食をとる。13:05 短い昼食タイムで出発。
- 14:35 伽智山 (1240m) にようやく到着。ここの山は岩の山で大きな岩があった。  
ここからは蔚山近郊、日本海に注ぐ太和江が眺望できたが、ガスが流れてき始  
め空模様は悪くなり始めた。
- 15:15 途中少し雨が降り出しレインウエアをつけ、中峰 (1160m) に着く。この後長い  
木の階段が続き石南峠に着く。ここは山の中にある駐車場と出発地点の寺への  
分岐である。そこで韓国のカップルが私達を待っており石南寺への道は悪く通  
行止めになっているとのこと。そのまま尾根を下った所の駐車場から車で送っ  
て下さるとのことのでこれに甘えコース変更し駐車場側へ下る。駐車場に彼女を

残し男性の方が我々をかなり長い道を送ってくれた。

17:00 石南寺の前に帰ってきた。帰りのバスはそれほどなく予定のコースを下りてきたら暗い中で困ったことが想像できた。本当にありがたいことだった。

18:55 ウルサン駅 (KTX の駅) に戻ってきた。地下鉄温泉場駅よりホテルに帰り韓国料理で乾杯。

記-F 野

## 10月9日(月) 金井山 801m

07:00 ホテル出発、歩いて登山口へ

07:20 金剛公園(登山口)着。しばらく公園の中を歩く。

07:50 ロープウェイ乗り場を通り過ぎ、衣服調整、案外暑い。

08:03 小さな滝の所で休憩。その後、石垣が現れ水場があり石仏群が現れる。

08:40 岩の間を登り、石舞台で休憩。眼下に温泉場の街が広がる。細長いマンシ

ョンが林立している。

09:13 ロープウェイ頂上駅着。トイレ休憩。この辺はなだらかだ。

09:53 ついに城壁に着いた。城壁に沿って南門に向かう。

10:06 南門着。建設当時の古い石垣が残っている。

10:43 階段で整備されたピークを二つ超え(しんどかった!)、コーヒータイム。

11:46 岩山(玻璃峰)頂上手前眺めの良いテラスに出た。西側の大きな川(洛東江)が見える。時々リスに会った!熊はいないのかなあ?

頂上ではたくさんの韓国人がお昼休憩している。私達はそのまま先へ。

急な階段を降りた辺りから道が解り難くなり、何人もの韓国人に聞きながら、見え隠れする城壁を外れないように歩く。

13:20 ついに西門(公園になっている)到着!食堂街があるはずだったが見当たらないので、行動食で昼の代わりにする。予定時間をだいぶ過ぎ目的の金井山へは遅くなりそうなので、ここでゆっくり休んでホテルへ戻る事にした。

15:30 バスを乗り継いで温泉場に着き、おみやげなどを見ながらぶらぶらして、ホテルに着いた。

この山城を巡るコースは、低山なのにごつつい岩山や歴史、韓国人のやさしさを感じて、とても興味深く貴重な経験だった。標識がハンゲルのみなので解らなくて苦労した。地名はハンゲルで覚えておかないと難しいと思った。リーダー始め一緒にした皆さん、ありがとうございました!!

記-K 藤

<藤野の見たこと、感じたことを追記します。>

走っている車はすべてがトヨタのクラウンほどの大きい車で小さい車は見つけるのが難しい位だ。もちろん軽はなし。住居は郊外でも細く高いマンションが林立し戸建ては見当たらなかった。

人々は先の青年の様に我々に親切で、地図を見ていると寄ってきて親切に教えてくれた。

反日感情があると考えていた私の考えは打ち砕かれた。女性は二重瞼の方は皆無であった。もちろん日本人と同じように綺麗な方ばかりでした。韓国料理は唐辛子を使った辛いものが多かった。



登山道から釜山の街



城壁の西門

伽智山



## 2023 年度第 7 回 運営委員会報告書

出席：N 村、A 本、N 野、K 林、F 川、N 村友（記録）、N 中利

欠席：I 東、K 藤、F 野、F 嶋、H 野

場所：比良雪稜会事務所

日時：10月10日（火）19時30分～21時10分

### ☆運営委員会を始める前に会長よりひと言

前回の運営委員会で、一度決めたことを変更してもよいのかという意見があったが、納得できなかったことは、改めて話し合うようにする。但し、机を叩いたり大声を出して相手を威圧するような行為は慎むようにする。年齢に関係なく、和気あいあいと意見を言い合い、納得した上で結論を出すようにする。

### 1. 登山祭典（秋の野点山行）について（10/22(日)開催予定）

#### 1) 参加申し込み状況

- 会員 24 名、一般 16 名、合計 40 名 締切までにあと 5～6 名増やしたい。  
山友会より参加の 1 名は、保険料なしで 3400 円とする。
- 募集定員： 50 名
- 申込締切： 10 月 15 日（日）但し、定員になり次第締切

#### 2) 登山祭典のチラシ

200 部を受け取り、ぶな 10 月号に添付して会員に配布

#### 3) 10/4（水）下見

参加： 計 5 名

音波山の稜線沿いに林道(工事車両用の道路道)が続いている。風力発電の工事の為、ぶな林を切り開いているので雰囲気半減している。山頂辺りは登山道のままである。山頂は狭く、30mほど進むと工事用道路に下りるが、平たんで開けた場所があり、展望もよいので、この辺りで野点を行うことにしたい。復路最後の国道 365 号への下りは緩やかなルートで峠に近い神社の方へ下りるようにする。

#### 4) 野点

- 会員はお湯を持参する。
- お湯は再加熱をしてお茶を点てる。ガス、コンロ、鍋 2セット用意。ガス 2つ購入。

- お茶碗は会のものを使用する。マイ茶碗がよい人は各自で管理してもらおう。
- キッチンペーパーは品質のよいものを準備する。
- 段取りよくスムーズに流れるよう野点の配置等は大村智氏と小林氏に取り仕切ってもらふことにする。
- 茶筌(4本)は摩耗と痛みがあるため、新調する。

#### 5) 帰りのバスルート

春の野点山行でローズタウンをいつもより奥の方までまわり、小野駅、堅田駅に到着するまでに時間がかかった。そのため今回は、ローズタウン内は奥へは回らず、事前に下車地を決めておくことにした。和邇駅→(旧道経由)→水明1丁目バス停→小野駅→堅田くら寿司前→堅田駅としたい。西村会長が江若バスと打合せをして決定し、帰りのバスの中で経路と停車場所をアナウンスする。

#### 6) 準備会

10/21(土) 10:00~比良雪稜会事務所

#### 7) 県連からの案内

県連ニュース9月号に登山祭典の案内を掲載

#### 8) 一般参加者用の労山短期掛け捨て保険について

一般参加者用の短期掛け捨て保険(250円/人)については、各会で一般参加者の人数分の保険料を集めて、書式Bに記入して10/21(土)までに送信と送金を行う。同時に県連にも書式Bをccで送る。  
西村会長が立替で行う。

### 2. 水質調査と放射線測定について(11/3(金・祝)開催予定)

1) ぶな10月号と県連ニュース10月号に交流山行で行う事を含めて案内を掲載

#### 2) コース

- 大橋方面
- 荒川峠方面

放射線測定機器の受け取り。採水容器が10/11か10/12に届く。水質検査費用が6,700円から8,800円にあがる。6箇所ですべて採水するので、52,800円となり12,600円UPする。今回は夏原グラントの助成金があるが、来年以降は予算的配慮が必要。

現在、交流山行の参加者はなし。

### 3. ハイキングレスキュー講習会について(11/12(日)に実施予定)

ハイキングレスキュー講習会の案内をぶな10月号に掲載した。申し込みはK嶋氏まで。例会の時に講習会参加を呼びかける。

#### 4. 夏原グラントのステップアップ助成について

夏原グラントの助成金は3年を限度としており、今年が3年目の助成を受ける最終年になっています。夏原グラントでは継続3年目の団体で同事業での助成を引き続き希望する団体を対象とした「ステップアップ助成」が創設されました。

「ステップアップ助成」は組織力アップに必要な経費を必ず計上しなければいけない助成です。その為、比良雪稜会が目指している趣旨の「自然保護活動」とは少し方向性が異なると思われます。比良雪稜会の夏原グラント関係者(西村会長・近藤氏・中野氏)で検討の結果、「ステップアップ助成」は申請しない予定です。

「ステップアップ助成金」は、1年ごと2年間。最大50万円もらうことができる。「ステップアップ助成金」を申請し、もらった助成金で放射線測定機器を購入してはどうかという意見も出た。しかし、運営委員会で検討の結果、目的が異なる為に申請しない事に決定した。夏原グラントに代わる助成があるか探す。

#### 5. 各担当より

リーダー部・遭難対策・技術アップ・HP・事務局：特になし

会計：会費未納の方に振込用紙を再度郵送する。入会金0円キャンペーン中のため大島氏に入会金1,000円と労山基金予約金過納分300円返金する。

自然保護：「山のトイレマナー袋」については近藤氏欠席のため次回。

機関誌：会誌「ぶな」の配布方法について、山本久氏より「ぶな」を郵送でなくメールで欲しいと連絡があった。運営委員会でメールでなく郵送で送ると決めたので郵送のみで対応し、個別対応はしない事に決まった。

労山基金：会長の転倒事故の交付金がありた。

#### 6. 県連報告

1) 第7回 ZOOM 理事会が9/6(水)にリモート会議で実施された。

議題1. 第61回登山祭典(10/22(日)予定)

- ・チラシ 300部発注 (200部は雪稜会に郵送、20部はオフトレイルに手渡し)
- ・一般参加者の短期掛け捨て保険代が8/1より250円に値上げ。各会で申請して費用を振り込む。(参加者のキャンセル補填は県連持ち出し)

議題2. 初級登山教室

- ・7/23 実技 沢登り(県連ニュース9月号に掲載済、HPアップ済)
- ・8/23 座学 クライミング3
- ・8/26-27 実技 沢登り「奥飛騨高原川上沢谷」受講生2名、スタッフ4名

## 実施済

### 議題3. 初級読図コース

- 9/30 3回目「長等山」9/6にHPから3名と会員1名の申し込み
- 11/26 4回目「穴太・壺笠山」最終回

### 議題4. 各部からの報告

- 機関誌部 県連ニュース10月号(9/15締切)、リレーエッセイ・写真(山友会)  
8/19 交流山行「二ノ谷山」(ちごゆり)部外参加無し  
9/2 CSS 沢登りの報告
- 自然保護部 8/25 近畿ブロック自然保護委員会(リモート会議 友永会長出席)  
水質調査・放射線測定山行を比良雪稜会が11/3に交流山行として実施予定。県連ニュース10月号で案内。
- 組織部 交流山行 海外登山案内2件 オフトレイル 申し込み状況  
10月の韓国ツアーに雪稜会2名の申し込み、全4名。オーストラリアツアーは申し込み無し。
- 財政部 清掃登山 米原市1万円の入金確認済。多賀町1万円の入金7月末確認済。竜王町 1万円を問い合わせ中、請求書を郵送中。
- 教育遭対部 11/12の「ハイキングレスキュー講習会」の実施決定。場所は千石岩直下の斜面。スタッフの事前練習日を10/21(土)とする。(予備日として11/5(日)で調整)

### 議題5. その他

- 「気象講習会」は来年度以降で改めて検討する。

2) 次回 第8回 ZOOM 理事会は10/11(水)にリモート会議で実施された。

内容に関しては次号にて詳細報告

### 7. その他

- 2024年度労山カレンダーの申し込みは各会で行い、届け先は各会とする。  
事務局中野氏が取りまとめ本部へ申し込む。
- 交通費は40円/kmです。
- 会員動向；大島 裕氏が10月より入会し、現会員数40名。

次回 第8回運営委員会は2023年11/14(火)です

## 《第5回リーダー一部会議事録》

日 時 10月17日(火)

場 所 比良雪稜会事務所

出席者 H野・H島・N村高・H部・N尾・K藤・N野・G阿弥・K原・K中啓・

井《第5回リーダー一部会議事録》

### 議題1 例会実施状況（ヒヤリハット）

- ・北八ヶ岳：特になし。熊の出没情報があった。
- ・鈴鹿縦走（石樽峠～釈迦ヶ岳）：タイトな行程であったが、計画とおり歩けた。
- ・柳生街道（滝坂の道）：途中、土砂崩れにより道が消失していたが目印（リボン）があり迂回できた。
- ・八雲ヶ原テント泊：特になし。二日目は、朝から雨だったため武奈ヶ岳、釣瓶岳への行程は中止し下山した。

### 議題2 11月～2024年1月の例会計画

| 開催日        | 山域・コース                      | テーマ・内容・       | 担当者      | レベル                  | 備考 |
|------------|-----------------------------|---------------|----------|----------------------|----|
| 11月        | 3日(金・祝)<br>大橋方面<br>荒川峠方面    | 水質検査<br>放射線測定 | K藤<br>N村 | 体力 ★★★☆☆<br>技術 ★☆☆☆☆ |    |
|            | 12日(日)<br>ハイキングレスキ<br>ュー講習会 | 滋賀県連          | K嶋       | 体力 ★☆☆☆☆<br>技術 ★☆☆☆☆ |    |
|            | 19日(日)<br>藤原岳～御池岳           | 鈴鹿縦走          | H島       | 体力 ★★★☆☆<br>技術 ★★★☆☆ |    |
|            | 23日(木・祝)<br>高取山             | 低山ハイク         | K原       | 体力 ★★★☆☆<br>技術 ★☆☆☆☆ |    |
| 12月        | 2日(土)<br>ほしだ園地              | 紅葉山歩          | H島       | 体力 ★★★☆☆<br>技術 ★☆☆☆☆ |    |
|            | 3日(日)<br>比叡山系<br>八王子山～三石岳   | 大津の山          | N尾       | 体力 ★★★☆☆<br>技術 ★★★☆☆ |    |
|            | 9日(土)<br>土山宿～関宿             | 東海道<br>ウォーク   | H池       | 体力 ★★★☆☆<br>技術 ★☆☆☆☆ |    |
|            | 16日(土)<br>比叡山<br>水井山～横高山    | 忘年山行          | H島       | 体力 ★★★☆☆<br>技術 ★★★☆☆ |    |
| 2024<br>1月 | 28日(日)<br>須磨アルプス            | 寒紅梅           | H島       | 体力 ★★★☆☆<br>技術 ★★★☆☆ |    |

次回のリーダー一部会議は、12月19日（火）です。



## 2023年11月予定表

|            |        |                            |      |        |                    |
|------------|--------|----------------------------|------|--------|--------------------|
| 1          | 水      |                            | 19   | 日      | 例会山行 鈴鹿縦走(藤原岳～御池岳) |
| 2          | 木      |                            | 20   | 月      |                    |
| 3          | 祝<br>金 | 文化の日<br>公開山行 飲み水水質調査・放射線測定 | 21   | 火      |                    |
| 4          | 土      |                            | 22   | 水      | 「ぶな」原稿締切           |
| 5          | 日      |                            | 23   | 祝<br>木 | 勤労感謝の日<br>例会山行 高取山 |
| 6          | 月      |                            | 24   | 金      |                    |
| 7          | 火      |                            | 25   | 土      |                    |
| 8          | 水      |                            | 26   | 日      |                    |
| 9          | 木      |                            | 27   | 月      |                    |
| 10         | 金      |                            | 28   | 火      |                    |
| 11         | 土      |                            | 29   | 水      |                    |
| 12         | 日      | ハイキングレスキュー講習会              | 30   | 木      |                    |
| 13         | 月      |                            | 編集後記 |        |                    |
| 14         | 火      | 第8回運営委員会                   |      |        |                    |
| 15         | 水      |                            |      |        |                    |
| 16         | 木      |                            |      |        |                    |
| 17         | 金      |                            |      |        |                    |
| 18         | 土      |                            |      |        |                    |
| 12月の予定     |        |                            |      |        |                    |
| 2          | 土      | 例会山行 ほしだ園地                 |      |        |                    |
| 3          | 日      | 例会山行 比叡山系(八王子山～三石岳)        |      |        |                    |
| 9          | 土      | 例会山行 東海道ウォーク(土山宿～関宿)       |      |        |                    |
| 16         | 土      | 忘年山行 比叡山(水井山～横高山)          |      |        |                    |
| 今月号と来月号の当番 |        |                            |      |        |                    |
| 今月号は       |        |                            |      |        |                    |
| 来月号は       |        |                            |      |        |                    |



ぶな 2023年11月号 No.536

## 比良雪稜会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方

TEL&FAX 077-594-0454

E-mail [kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp](mailto:kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp)

HP [aquafoal39.sakura.ne.jp](http://aquafoal39.sakura.ne.jp)

滋賀県勤労者山岳連盟